

## ホンジュラス政治経済情勢（2021年2月）

在ホンジュラス日本国大使館

### 1 内政

#### （1）2021年大統領選挙・国会議員等選挙に向けた動き

ア 3日付当地主要紙ラ・プレッサは、CID-Gallup社が国内計1,200名を対象に、1月10日～26日にかけて実施した世論調査の結果につき報じた。主な大統領候補の評価は以下のとおり（肯定的評価の高い順）。

	肯定的評価	否定的評価
①ナスリ・ <u>アスフラ</u> ・首都テグシガルパ市長（国民党）	: 48%	31%
②サルバドル・ <u>ナスララ</u> 氏（ホンジュラス救済党）	: 43%	46%
③シオマラ・ <u>カストロ</u> ・セラヤ元大統領夫人（リブレ党）	: 40%	46%
④ジャンニ・ <u>ロセントル</u> 元大統領府大臣（自由党）	: 32%	34%
⑤ダリオ・ <u>バネガス</u> 国会議員（自由党）	: 30%	32%
⑥マウリシオ・ <u>オリバ</u> 国会議長（国民党）	: 27%	44%
⑦カルロス・エドゥアルド・ <u>レイナ</u> ・リブレ党書記（リブレ党）	: 22%	35%

イ 6～7日付当地主要紙ラ・トリブナは、国家選挙管理委員会（CNE）が、本年実施される予備選挙（3月）及び大統領選挙（11月）において、米州機構（OAS）、欧州連合（EU）、米州選挙機関連合（UNIORE）、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）及び市民団体等から選挙監視団を受け入れる旨報じる。

ウ 9日、当国最大の経済団体であるホンジュラス民間企業連合（COHEP）は、CNEとの間で、予備選挙及び本選挙における選挙監視に向けた協力のための覚書を交わした。COHEPは、今後、選挙監視員の事前訓練及び選挙当日の監視に際し人的・資金的支援を行うとともに、CNEと協力して国際社会からの選挙監視員の受入れにあたる。

エ 10日、選挙裁判所（TJE）は、登録要件の不備を理由に予備選挙参加申請を却下されたロレイ・フェルナンデス元国会議員（国民党）による不服申立てに関し、これを棄却する旨決定した。

オ 3月14日の予備選挙まで1か月を切り、本選挙前ほど大きな政治的盛り上がりが見られるわけではないものの、各候補者ともコロナ禍であっても各地を回り集会を開くなど例年並に選挙活動を展開。一方で、新しい国民IDカードの配布遅れ（但し、予備選挙では新旧いずれのカードでも投票可）、選挙人名簿への有権者50万人分の記載漏れ発覚等、投票日を前に混乱も生じている。

#### （2）汚職・麻薬関連

ア 23日、エルナンデス大統領の麻薬取引関与疑惑が取り沙汰される中、米上院議員複数名が、当国の汚職問題及び人権侵害が改善されない場合、当国への資金援助及び防衛装備品販

売の停止に加え、エルナンデス大統領に対して査証の効力停止、米国内の資産凍結等の制裁を課すことも可能とする「ホンジュラスの人権と反汚職に関する法律（Ley de Derechos Humanos y Anticorrupción en Honduras de 2021）」案を議会に提出した。

イ 24日、エルナンデス大統領は、マラスを始めとする犯罪組織に対抗するための、治安改善の枠組創設に関する法案を国会に提出した。

### （3）新型コロナウイルス

ア 3日、ミデンセ財務大臣は、ワクチン確保に向けて、政府がロシア及び中国と交渉を開始した旨明らかにした。

イ 9日、保健省は、イベルメクチンを新型コロナ予防薬及び治療薬として使用することを決定した旨発表。イベルメクチンは、もともと疥癬の治療薬として大村智北里大学特別栄養教授が開発したもので、現在、日本を含む各国で新型コロナウイルスに対する治験が進められている。

ウ 22日、ロサレス外相は、国内の記者会見の場で、COVAXファシリティを通じた途上国へのワクチン提供は先進国の買い占めにより機能していないとして汎米保健機構（PAHO）及びCOVAXを批判。同日、エルナンデス大統領も自身のツイッターにて、富める国のワクチン獲得競争により連帯が損なわれていると発信した。

エ 25日、イスラエル政府から譲渡されたモデルナ社製ワクチン5,000回分が到着。同日午後、首都テグシガルパ市アロンソ・スアソ医療センターにおいて、エルナンデス大統領及びロサレス外相等立会いの下、同センター看護師に国内最初のワクチン接種が行われた。

オ 2月末現在、当国のワクチン確保状況及び当地到着予定（ホンジュラス政府発表）は以下のとおり。

- ①イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製5,000回分（2月25日到着）
- ②COVAXファシリティを通じた無償取得：アストラゼネカ社製380万回分（3月以降順次）
- ③政府による購入：ロシア製スプートニクV420万回分（3月以降順次）
- ④社会保険庁による購入：アストラゼネカ社製140万回分（5月以降順次）
- ⑤上記の他、政府はモデルナ社、ファイザー社、アストラゼネカ社等とそれぞれ購入に向けた交渉を行っている旨報じられた。

カ 国内全土を対象とした夜間外出禁止令（21:00～翌5:00）は、2月も終始継続。加えて、1月31日よりサンタルバラ県、コルテス県、アトランティダ県及びジョロ県の4県では、週末のみ、身分証明証の末尾番号による外出制限を実施。

キ 28日時点で、当国（人口約959万人）における感染者総数は170,304人、死者数は4,151人。死者数と治癒者数（66,513人）を除く現感染者数は99,640人で、そのうち入院患者数は948人（重症患者343人、ICU患者57人）、自宅等での療養者は98,692人（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）。

## 2 外交

- (1) 3日、ロサレス外相、マデロ総括大臣、ディアス大統領府大臣等で構成される政府代表団が渡米し、COVAXファシリティを通じて無償取得予定のワクチン（約380万回分）の量の上乗せの可能性を追求すべく、ワシントンDCにてWHO関係者と協議を行った。
- (2) 6日、ブリンケン米 국무長官は、当国との間で締結済みの移民に関する保護協力協定（ACA）の停止を決定した旨発表。その理由について、バイデン大統領のビジョンに基づく、移民問題解決のための相互に協調的な取組の一つであると説明した。なお、ACAに基づく当国への第三国移民の送還は現在まで一度も行われていない。
- (3) 8日、エルナンデス大統領はオンライン形式で、ロサレス外相及びマデロ総括大臣はジュネーブを訪問して、テドロス WHO 事務局長と会談を実施。エルナンデス大統領は当国における新型コロナの厳しい感染状況、及び昨年11月に中米を襲った熱帯暴風雨「イータ」及び「イオタ」による被害と相まって経済に多大な影響が出ている旨説明しつつ、COVAX ファシリティを通じたワクチンの早急な配布を強く申し入れた。
- (4) 15日、我が国は、令和2年度無償資金協力「経済社会開発計画」（保健・医療関連機材供与）を通じ、第三便として当地に到着した救急車8台の供与式を、福田駐ホンジュラス大使、アナ大統領夫人、フローレス保健大臣等出席の下実施した。
- (5) 17日、ロサレス外相はニカラグアを訪問し、モンカダ同国外相とコロナ禍における両国の取組、熱帯暴風雨災害からの復旧・復興状況等について意見交換を行った。さらに、当国を兼轄する駐ニカラグア・ロシア大使と同国製ワクチン購入に向けて協議した。
- (6) 19日、ロサレス外相はブリンケン米 국무長官と電話会談を行い、移民を引き起こす構造的問題への取組、コロナ禍及び熱帯暴風雨災害からの復旧・復興を目的とした支援等に関し意見交換を行った。
- (7) 23日（天皇誕生日）、我が国は、首都テグシガルパ市フアナライネス公園において、令和2年度無償資金協力「社会経済開発計画」（ハリケーン災害復興関連機材供与）及び「国道一号線橋梁架け替え計画（詳細設計）」に関する交換公文（E/N）をホンジュラスとの間で署名・交換した。
- (8) 26日、ロサレス外相はマヨルカス米国土安全保障長官と電話会談を行い、一時的被保護資格（TPS）の付与、不法移民抑制に向けた両国間の共同の取組等について意見交換を行った。

## 3 経済

- (1) 3日付当地主要紙ラ・プレッサは、長引く新型コロナの影響と昨年11月の熱帯暴風雨災害により、2020年の観光業界の損失額が約13億ドルとなり、過去最悪の水準を記録した旨のホンジュラス観光協会（CANATURH）の発表につき報じる。観光業は、年間GDP（250億ドル強）の約6.5%にあたる16.52億ドルを占めている。
- (2) 8日、中米経済統合銀行（BCIE）は、中米統合機構（SIGA）加盟8か国を対象とした新型コロ

ナ用ワクチン調達のための融資枠を4億ドル増額する旨発表。客年9月に承認済みの4億ドルと合わせ、同融資枠は合計8億ドルとなり、1か国あたり1億ドルまで借入可能となる。

- (3) 10日、財務省は、2020年末時点の公的債務が139億8,920万ドル（GDP比56.4%）となった旨発表。コロナ禍での保健医療対応及び経済活性化を目的とした新規借入の増加により、2019年末の121億4,900万ドルから15.1%（18億4,020万ドル）増加した。
- (4) 12日、SIGAは、ホンジュラスでは人口の31%にあたる290万人が食料安全保障の危機にさらされているとする報告書を発表。コロナ禍及び昨年11月の熱帯暴風雨被害が、穀物・野菜等の価格高騰、収穫量減少及びそれによる世帯収入減少を引き起こし、食料不安は今後さらに深刻化していくと見られている。
- (5) ホンジュラスコーヒー協会（IHCAFE）の発表によると、2020～2021年シーズン最初の5か月間（2020年10月～2021年2月）における当国のコーヒー輸出量は196万キントル（9万トン超）で、前シーズン同時期の270万キントル（約12.4万トン）から27.4%減の大幅減となった。輸出額は2.7億ドルで、前シーズン同時期の3.3億ドルから16.4%減少。コロナ禍での需要減少及び昨年11月の熱帯暴風雨被害に伴う収穫量減少等が影響した。

#### <主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021年		2020年		2020年	2019年
	2月	1月	12月	11月		
インフレ率（前年同月比）	3.87%	4.18%	4.01%	3.82%	4.01%	4.08%
貿易収支（百万ドル）	—	—	未発表	—	未発表	△3,107.4
輸出（百万ドル）	—	—	未発表	—	未発表	8,718.3
輸入（百万ドル）	—	—	未発表	—	未発表	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8,242.7	8,130.6	8,148.8	8,195.0	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	未発表	—	未発表	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	24.24	24.26	24.31	24.45	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、四半期毎に発表

(了)